

多くの人に伝えたい。

「情報発信」という名の支援
誰かの一步につなげる

一人の小さな「SOS」
広げる存在に感謝



Vol.6

ドックウッドに愛犬を預けた
仙台市宮城野区の会社員

芳賀正治さん(42)

被災世帯のペット預かり活動続ける
「ドックウッド」オーナー

我妻真紀さん(41)

「情報ボランティア@仙台」で活動している
仙台市青葉区・東北学院大1年

梅村雅さん(19)

震災から1年半以上が経過しましたが、被災ペットの問題はまだ解決していません。わたしたちの元には現在、自宅に帰れない犬や猫が約90頭残っています。行政による被災ペットの保護サービスが終わり、風化が進んでいるせいか、引き取り手は昨年比べて極端に減りました。本当はみんな元の飼い主のところへ帰してあげたい。ただ、現実的には難しい世帯も多い。愛情を持って飼ってくれる、新しい飼い主や里親が必要です。わたしたちはチラシや本、ホームページなどを通じて多くの協力を募っていますが、自分たちだけの力

被災者や支援活動に取り組む団体は、状況を広く伝えることの重要性を強く感じています。

「情報ボランティア@仙台」で活動している仙台市青葉区・東北学院大1年梅村雅さん(19)は、被災地での活動を通じて、被災者の声や情報を伝えることの重要性を感じています。被災地では活動する団体などを取材し、ブログで紹介しています。記者になるという夢があり、自分の関心や得意なこと、生かせる活動に考えて今年9月に活動に加わりました。

被災地支援に必要な情報を当事者に代わって伝えるという行動も、また一つの支援の在り方です。

信では限界があります。梅村さんのようなボランティアに情報を広めてもらう意義は大きいですが、まずは現状を知ってもらうことが力になりますから。(我妻さん)

アパートに仮住まいしているためです。ニコは大切な家族。大事に扱ってもらい、感謝しています。わたしたちのように被災者のことで困っている被災者は少なくありません。ペット以外のことで被災者から時間が経つて初めて被災者や支援者の状況を知っている人っています。(芳賀さん)

今できることプロジェクト

「今できることプロジェクト」とは、読者の皆さん、企業・団体の皆さん、河北新報社と一緒に、これからの被災地・被災者支援のあり方を考え、具体的なアクションへとつなげていくプロジェクトです。紙面では毎回、実際に行われている支援の事例を、いくつかの支援スタイルに分けて取り上げ、支援する立場の人と支援を受ける立場の人、双方の生の声をご紹介します。今回のテーマは、被災者の暮らしに役立つ情報が求められている中で、情報を広めたり、当事者に代わって伝えたりする「情報発信型支援」の事例です。

皆さんの支援情報や参加しているプロジェクト、感じていることを「今できることプロジェクト」特設HPにお寄せください。

www.kahoku.co.jp/imadeki/index.html

河北 今できること

検索

facebookページもあります。

被災地では活動する団体などを取材し、ブログで紹介しています。記者になるという夢があり、自分の関心や得意なこと、生かせる活動に考えて今年9月に活動に加わりました。

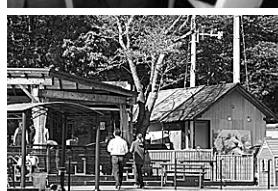
被災地支援に必要な情報を当事者に代わって伝えるという行動も、また一つの支援の在り方です。

◎情報ボランティア@仙台

仙台圏の大学生が中心となり、被災地の情報を取材して発信しています。河北新報社が運営する地域SNS「ふらっと」の特設サイト「情報ボランティア」で記事を読覧できます。

◎「ドックウッド」電話 022-391-3150

仙台市青葉区のペット関連サービス会社。ドッグランやカフェ、動物病院などを経営しています。震災直後から被災世帯のペットを無償で預かる支援活動に取り組んでいます。



このほかにも情報発信を通じて被災地を支援している団体やグループがあります。いくつか紹介します。インターネットで名称を検索できます。

①NPO法人ボランティアインフォ(仙台市)

ホームページでボランティア情報をまとめて発信。ボランティアを募集している団体と希望者をつなぐ。

②笑顔311(仙台市)

被災地の声や情報を伝えるため、インターネットの動画配信番組を毎週一回放送している。

③被災地に行こう

インターネットの交流サイト「フェイスブック」で、被災地の復興状況や観光情報などを発信している。

●私たちも、被災地支援のため「今できること」とをともに考え、このプロジェクトを推進していきます。

IHI/アヴィエスホーム/アサヒビール 東北統括本部/いのちの電話 震災ダイヤル/岩手日新聞社/岩松旅館/エイチ・アイ・エス/NTTデータ東北/鹿島建設 東北支店/麒麟ビールマーケティング 東北統括本部/ケーズデンキ/コセキ/サッポロビール 東北本部/サントリービシア&スピリッツ 東北支社/JA全農みやぎ/JT 仙台支店/鈴木工業/住友生命 仙台総支社/住友林業 仙台支店/青南商事/セキスイハイム東北/石油連盟/仙台コカ・コーラボトリング/仙都タクシー/第一生命 仙台総合支社/大東住宅/タゼン/東海東京証券/東北三菱自動車/一般社団法人 日本手芸学会/日本政策金融公庫 仙台支店/日本製紙/日本製紙クレシア/日本生命 仙台支社/はとバス/東日本大震災事業者再生支援機構/ビルワーク/富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ/ベルモースズギ/ペロタクシー/北洲ハウジング/ホテル佐勘/三井物産/三菱地所グループ/宮城県遊技業協同組合/みやぎ生活協同組合/宮城第一信用金庫/宮城中央ヤクルト販売/明治安田生命 仙台支社/リコージャパン 東北営業本部/河北新報社(順不同)

◎後援/宮城県、仙台市、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会

[お問い合わせ]今できることプロジェクト事務局/河北新報社営業部 tel 022-211-1318